

Design the Future



2014年3月期 上半期決算説明会


株式会社 **ダイセル**

2013年11月7日

目 次

2014年3月期 上半期実績	P 3 ～ P 7
2014年 3月期 見通し	P 8 ～ P 12
設備投資額推移	P 13
減価償却費推移	P 14
セグメント情報	P 15 ～ P 19
Topics	P 20 ～ P 26
参考資料	P 27 ～ P 29

Design the Future



2014年3月期
上半期実績

業績概要

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	増減率
売上高	1,773	1,970	+196	+11.1%
営業利益	136	176	+40	+29.1%
経常利益	137	192	+55	+40.0%
当期純利益	72	121	+50	+68.9%
為替レート	80 円/\$	98 円/\$		

連結損益計算書

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	備 考
売上高	1,773	1,970	+196	数量差 +22 単価差 +174(為替 +184)
売上総利益	406	467	+61	
販売費及び 一般管理費	270	291	+22	
営業利益	136	176	+40	数量影響 △16 その他+3 価格影響 +53(為替 +43)
営業外損益	1	16	+15	為替損益改善 +17
経常利益	137	192	+55	
特別損益	△ 14	17	+31	
税金等調整前 当期純利益	124	209	+86	
法人税等、 少数株主利益	52	88	+36	
当期純利益	72	121	+50	
為替	80 円/\$	98 円/\$		

セグメント別 売上高・営業利益分析

【売上高】

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	363	435	+73	+12	+61
有機合成	357	386	+29	+4	+25
合成樹脂	704	741	+37	△5	+42
火工品	319	378	+59	+12	+46
その他	30	28	△1	△1	
合 計	1,773	1,970	+196	+22	+174

【営業利益】

	前上半期	当上半期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	67	90	+22	△3	+25	+0
有機合成	24	33	+9	+3	+4	+2
合成樹脂	62	54	△8	△16	+13	△5
火工品	22	43	+20	+3	+11	+6
その他	4	0	△3	△3	0	0
全 社	△44	△44	△0	0	0	△0
合 計	136	176	+40	△16	+53	+3

連結貸借対照表

単位：億円

	2013年 3月末	2013年 9月末	増減	備 考
流動資産	2,322	2,436	+114	
現預金及び有価証券	547	616	+68	主に社債発行による
受取手形及び売掛金	770	792	+22	
棚卸資産	830	867	+37	
その他	175	162	△13	
固定資産	2,293	2,442	+149	
有形固定資産	1,493	1,558	+65	取得+140、償却 △105、為替換算差+32
無形固定資産	136	137	+1	
投資その他資産	664	747	+83	投資有価証券+49(時価評価額増)
資産合計	4,615	4,878	+263	
負債	1,986	2,060	+74	
有利子負債	992	1,085	+93	有利子負債比率 22.3%
その他	994	994	+0	
純資産	2,629	2,818	+189	自己資本比率 52.7%
負債純資産 合計	4,615	4,878	+263	

Design the Future

2014年3月期
業績見通し

前提条件

		2013/3		2014/3	
		上期実績	下期実績	上期実績	下期計画
為替レート		80円/ \$	85円/ \$	98円/ \$	95円/ \$
原料	メタノール (アジアスポット価格)	\$376	\$370	\$390	\$400
	原油 (ドバイ)	\$106	\$108	\$103	\$105
	国産ナフサ	55,000円	59,600円	64,700円	65,000円

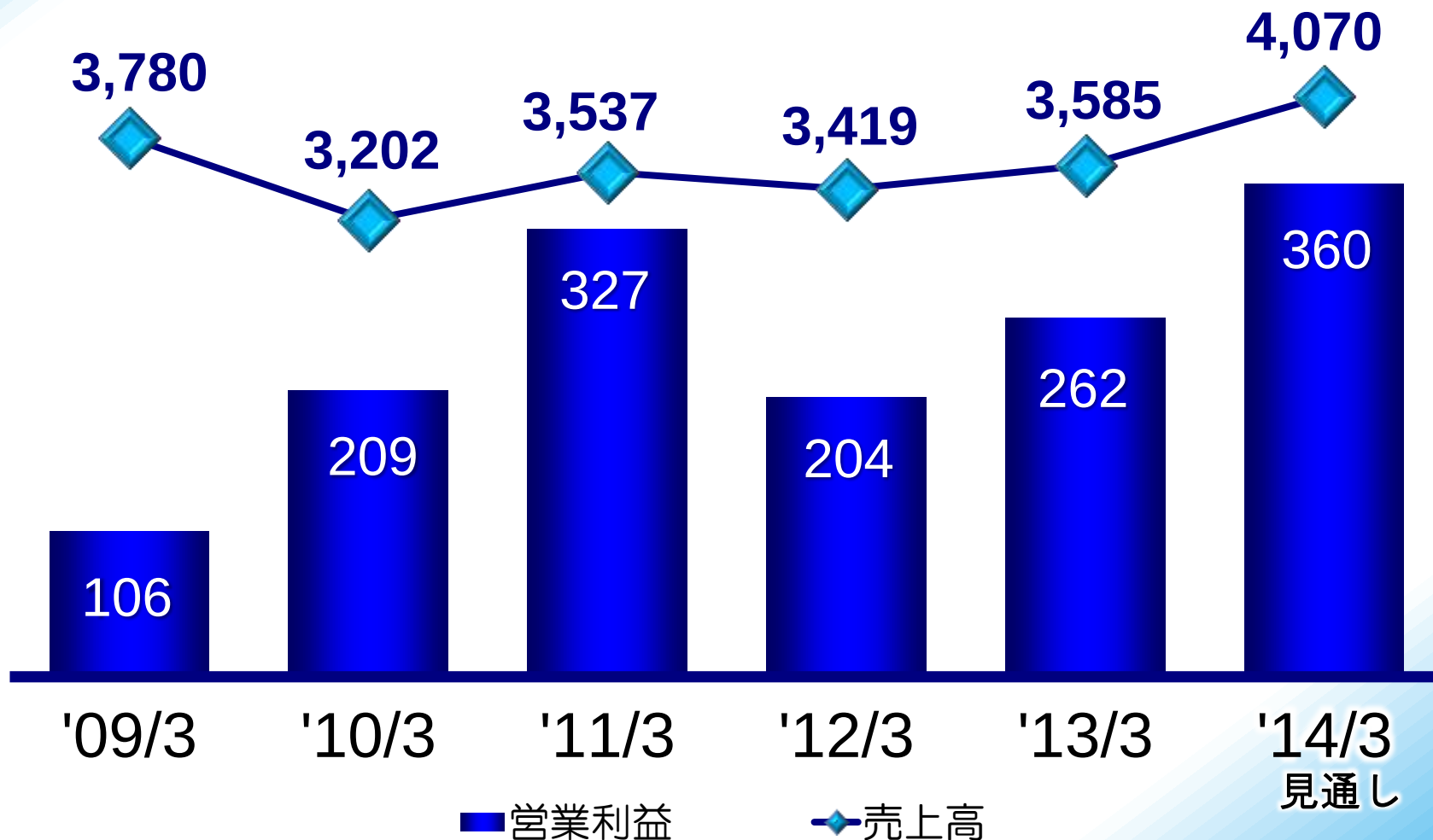
2014年3月期業績見通し

単位：億円

	前 期 実 績	当 期 見通し	増減	増減率
売上高	3,585	4,070	+485	+13.5%
営業利益	262	360	+98	+37.4%
経常利益	286	380	+94	+33.0%
当期純利益	154	210	+56	+36.6%
為替レート	82 円/\$	97 円/\$		

売上高・営業利益の推移と見通し

(単位：億円)



セグメント別 売上高・営業利益(前年対比)

【売上高】

単位: 億円

	2013年3月期 実績	2014年3月期 見通し	増減
セルロース	745	900	+155
有機合成	715	795	+80
合成樹脂	1,402	1,530	+128
火工品	660	775	+115
その他	64	70	+7
合 計	3,585	4,070	+485

【営業利益】

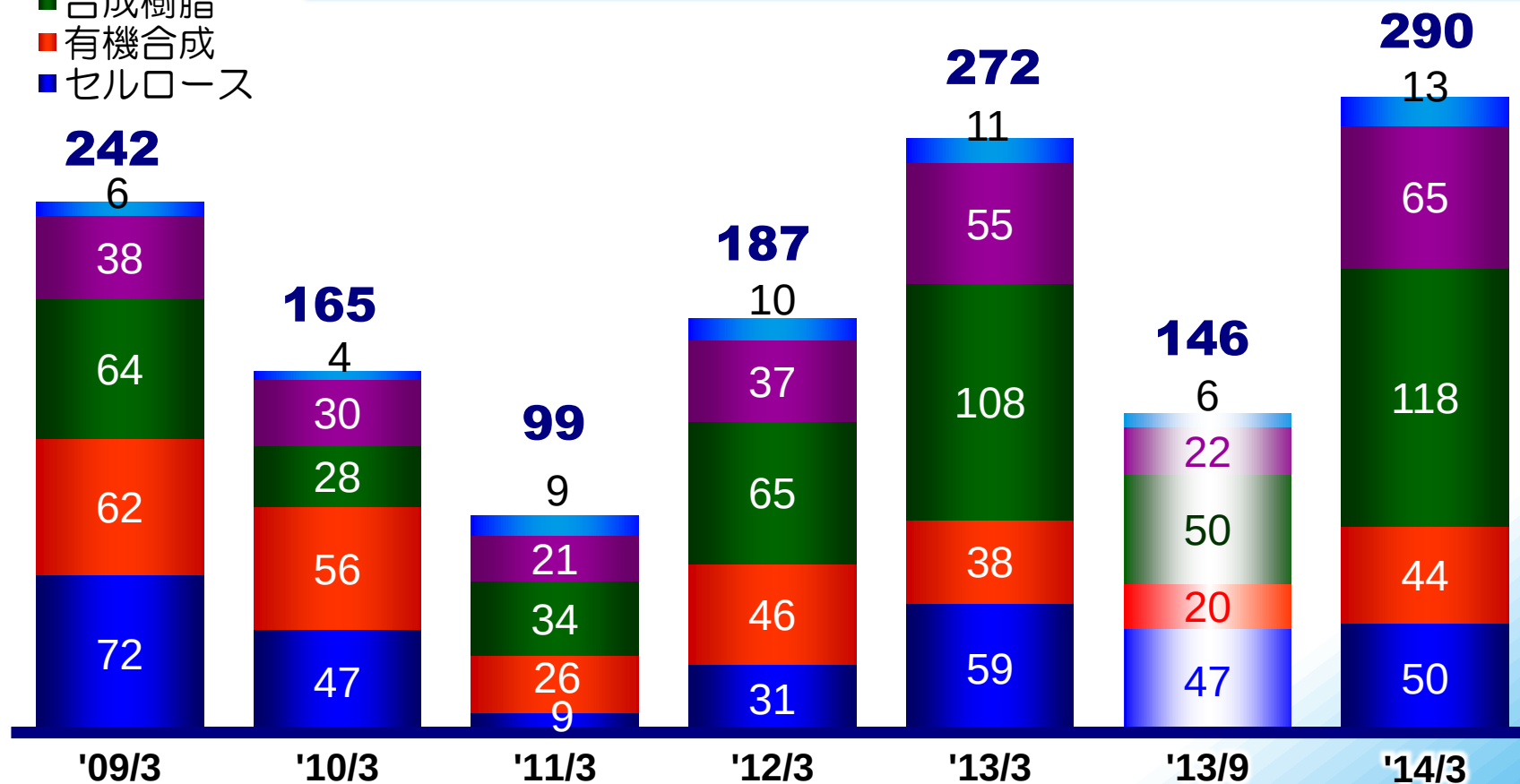
	2013年3月期 実績	2014年3月期 見通し	増減
セルロース	136	175	+39
有機合成	53	68	+15
合成樹脂	112	116	+4
火工品	41	85	+44
その他	8	4	△4
全 社	△87	△88	△1
合 計	262	360	+98

設備投資額推移

(単位：億円)

- その他全社
- 火工品
- 合成樹脂
- 有機合成
- セルロース

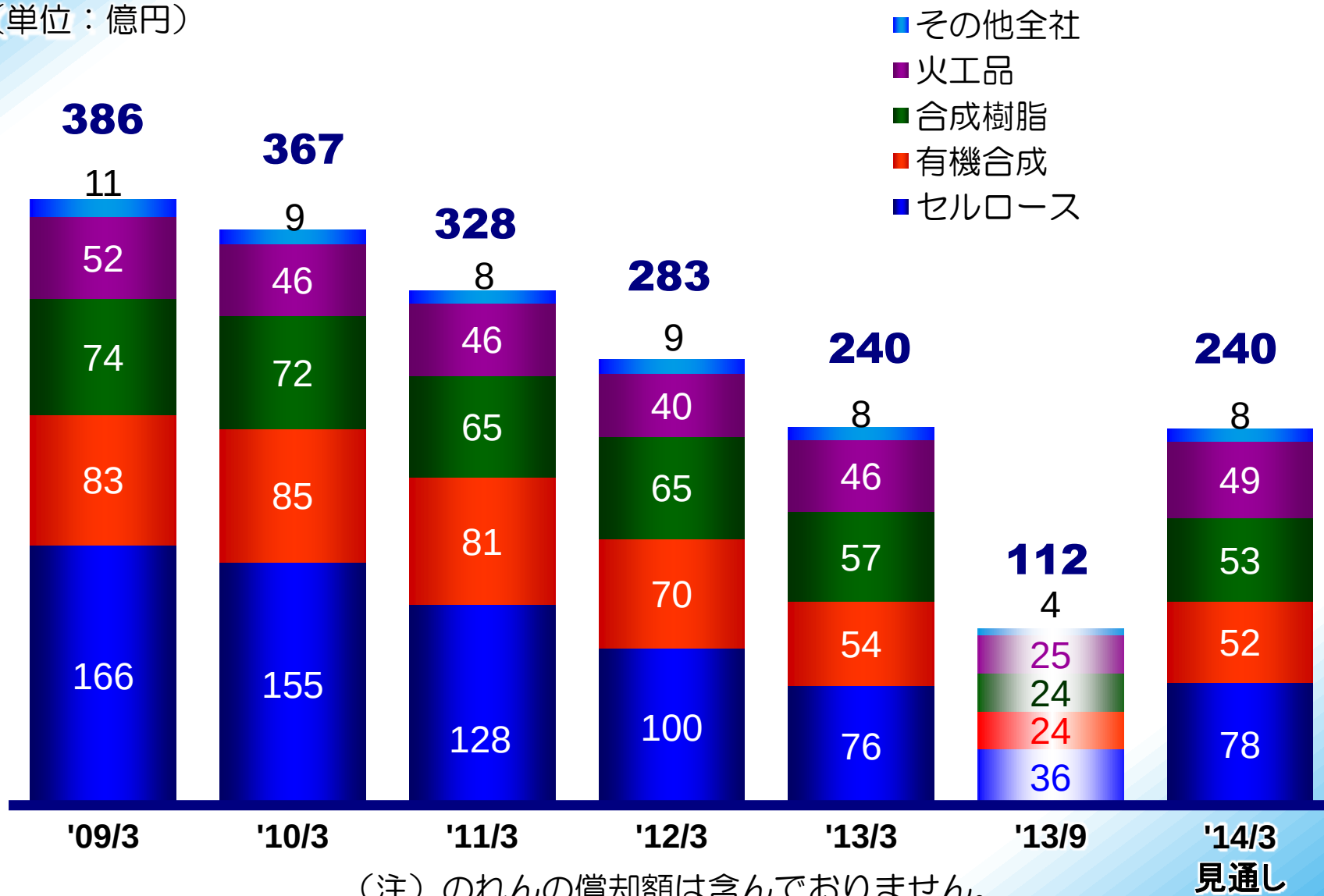
- ◆ 大竹工場 たばこフィルター用アセテート・トウ増設(2013年7月稼働)
- ◆ ポリプラスチック・マレーシア ポリアセタール増設(2014年初頭稼働予定)
- ◆ インフレータ 韓国新拠点(2013年12月稼働予定)／海外既存拠点増強



(注) 新規連結に伴う増加額は含んでおりません。

減価償却費推移

(単位：億円)



Design the Future

セグメント情報

セルロース事業 セグメント

売上高 +73億円

為替影響 +52億円

◆ 酢酸セルロース：

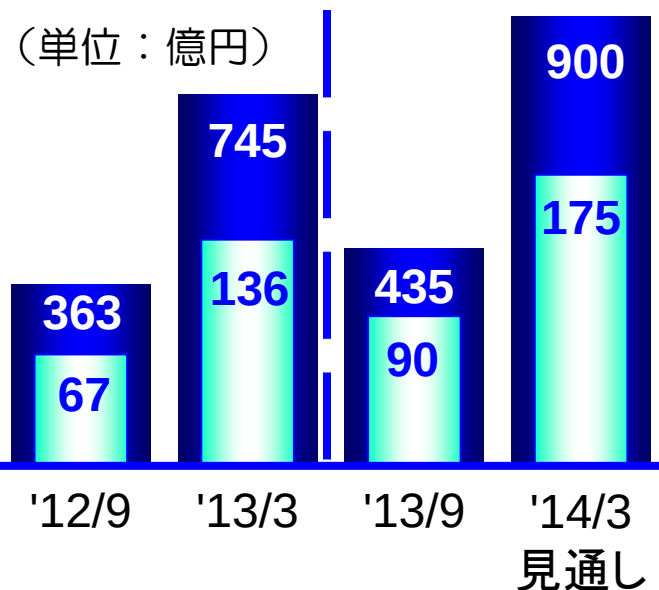
液晶フィルム向けTAC：フィルムの薄膜化と液晶ディスプレイの不調で微減

◆ たばこフィルター用アセテート・トウ：

網干工場の2年に1度の定期修繕などによる減産があったが、7月からの大竹工場と網干工場での増産が寄与したことや、海外向け販売が好調に推移したこと、販売価格是正、為替の影響により、増収

営業利益 +22億円

販売価格是正と為替の影響などにより増益



2014年 3月期 見通し

◆ 酢酸セルロース

液晶フィルム向けTAC：横ばいもしくは微減の見通し

- ✓ TACフィルムの薄膜化
- ✓ 他材料との競合

◆ アセテート・トウ

大竹、網干での増産と三菱レイヨンとの合併事業の開始により販売数量増

有機合成事業 セグメント

売上高

+29億円

為替影響

+22億円

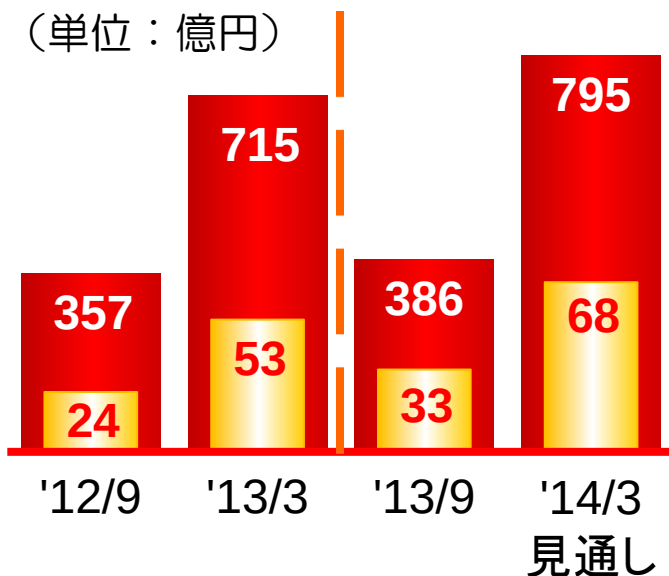
- ◆ **酢酸**： 網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したこと、PTAメーカーの稼働低下による需要減で販売数量減
原燃料アップ分の価格転嫁や為替の影響により、増収
- ◆ **酢酸誘導品等汎用品および有機機能品**：
電子材料向けの販売数量増加や為替の影響により、増収
- ◆ **CPI**： カラム販売が好調に推移したことや為替の影響により、増収

営業利益

+9億円

機能品を中心とした数量増と為替の影響などにより増益

(単位：億円)



2014年 3月期 見通し

電子材料向けを中心とした
製品需要の緩やかな回復や
円高の緩和による輸出環境の改善により増収

合成樹脂事業 セグメント

売上高

+37億円

為替影響

+59億円

◆ ポリプラスチックス（12月決算）：+ 18億円

当第2四半期にあたる平成25年1～6月においては、自動車の生産台数減少や電子デバイス製品の販売低調の影響で販売数量減 為替の影響により増収

◆ ダイセルポリマーGr.：+15億円

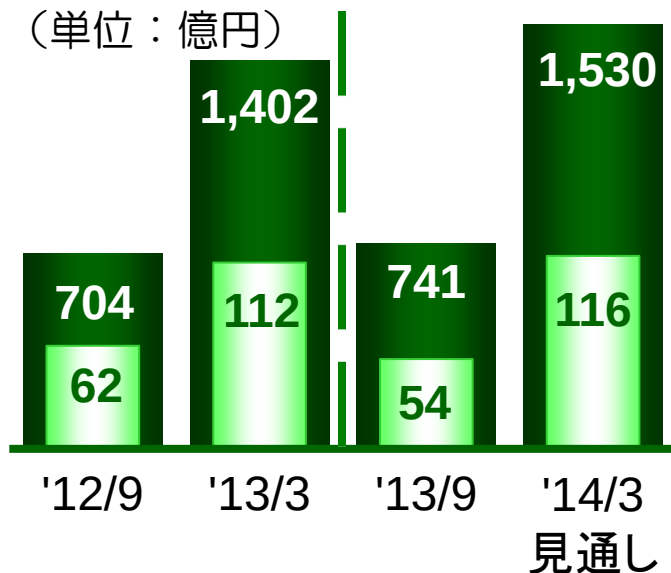
自動車部品向けなどが堅調に推移し、増収

営業利益

△8億円

数量減や経費の増加などにより減益

（単位：億円）



2014年 3月期 見通し

◆ ポリプラスチックス

日系自動車メーカーの生産台数が
上方修正されていること、
および為替の影響から増収

◆ ダイセルポリマー

自動車部品向けなどの需要堅調により増収

火工品事業 セグメント

売上高

+59億円

為替影響

+51億円

◆インフレータ事業：

北米自動車市場の拡大基調の継続や中国での日本車販売の回復、為替の影響により、増収

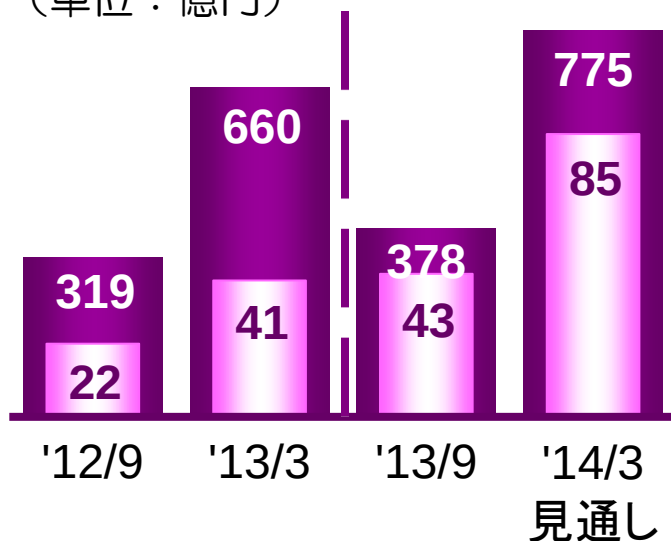
'12年上期 2700万個 ⇒ 当上期 2900万個 （+200万個）

営業利益

+20億円

販売数量の増加や為替の影響などにより増益

（単位：億円）



2014年 3月期 見通し

◆インフレータ：

グローバル自動車市場は、
堅調に推移すると予想、
加えて為替の影響もあり、増収増益

2013年度 6000万個（+600万個）

Topics

たばこフィルター用アセテート・トウの強化

2013年5月1日、富山フィルタートウ株式会社 スタート
(出資比率：三菱レイヨン 65%、当社 35%)

**三菱レイヨン
富山工場内**



大竹工場 増設



**2013年7月稼動開始
製造能力 約1割増**

**工場
増強
網干
能力**



新井工場に2013年6月に設置した 機能化学品製造プラントが

試運転を終え、竣工

電子材料分野をターゲットとした
電子材料用機能材料の
試験製造と量産化に対応



試験製造設備



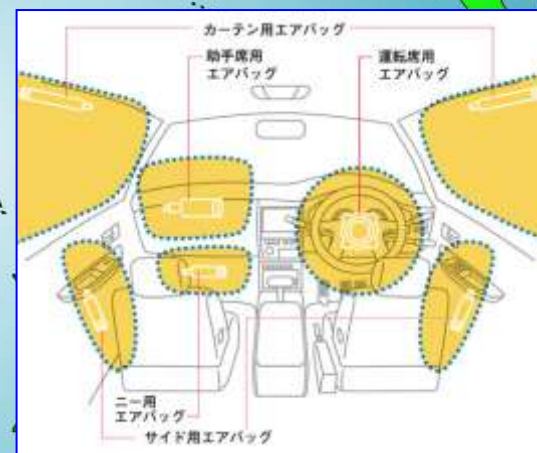
新井工場 機能化学品製造設備

ポリプラスチック グローバル化を加速



*K-International Trade Fair : 3年に一度、ドイツ・デュッセルドルフのメッセ・デュッセルドルフにて開催される世界最大規模の国際プラスチック・ゴム産業展

DSSK 2013年12月操業開始



2011年11月 に設立した
Daicel Safety Systems Korea, Inc.
本年12月 操業開始

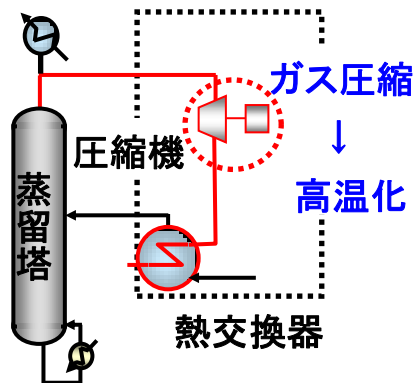
『プロセス革新』の取り組み

目的： プロセス革新技術を開発・実証し、
事業拡大のための新たな方法を創出することにより、

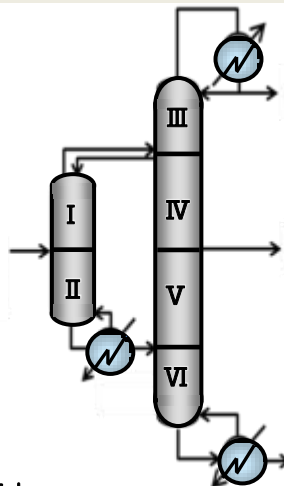
- 抜本的な比例費低減
 - 投資額の大幅削減
 - 建設リードタイムの短縮
- 等を図る

蒸留プロセスの省エネルギー技術開発

VRC技術



Petlyuk技術



経済産業省
「先端設備等投資促進補助事業」

大型化学
プラントでの
実証は世界初！

30%以上の
省エネ

さらなるプロセス革新

- ・ 膜分離技術の応用
- ・ 新反応技術の創出
など

安全操業、製品安全・品質確保を最重要課題として

Develop New Values **3D - II 中期計画 (2014~2016年)**

現在策定中、来年2月に発表の予定

3D - I 中期計画 (2011~2013年) **Design the Future**

中期計画「3D - I」の基本戦略を着実に遂行

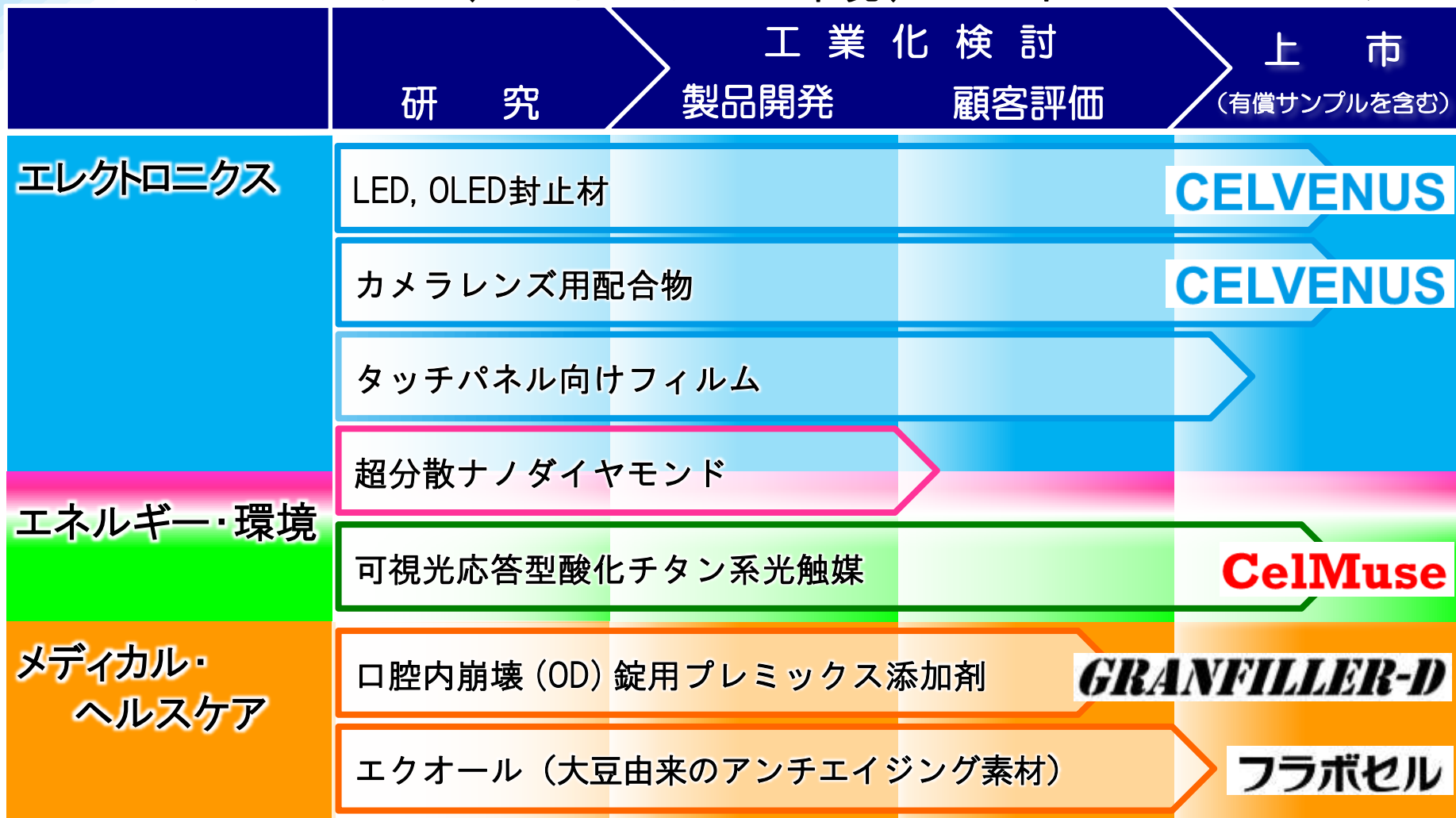
- ◆ 新規事業の創出
- ◆ コア事業のさらなる強化
- ◆ グローバルでの事業展開の拡大・強化
- ◆ コスト競争力の強化
- ◆ ビジネスパートナーとの連携強化
- ◆ 戦略的M & A活用
- ◆ 基盤の強化

参考資料

3D- I : 新事業創出に向けた取り組み

ターゲット領域 :

エレクトロニクス、エネルギー・環境、メディカル・ヘルスケア



3D- I : セグメント別 取り組み状況

セルロース事業セグメント



◆アセテート増強(大竹・網干)

◆三菱レイヨンと合併でアセテートJV設立

◆アセテートの中国JV増強に着手

有機合成事業セグメント



◆酢酸エチル増強

◆キラル(中国・上海)移転・拡張

◆機能化学品製造設備を設置(新井)、機能材料の試験製造と量産化に対応

合成樹脂事業セグメント



◆ダイセルポリマー

・タイに販社設立

・長繊維強化樹脂設備の増産体制確立

◆三井化学と合併で

高発泡プラスチックJV発足

◆ポリプラスチック

・台湾拠点のコンパウンド増強

・中国(南通)にコンパウンド拠点設置

・LCPの原料モノマーメーカー独ロイナ社を買収

・マレーシアでポリアセタール新增設

・米国、ドイツ、韓国、メキシコに販社設立

火工品事業セグメント



◆韓国にインフレータ製造拠点設置

◆イニシエータ製造の米国SDI社を買収

全社共通基盤

◆網干に都市ガス・コジェネレーション導入

◆教育訓練センターをリニューアル



予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は、株式会社ダイセルに帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。





DAICEL

The Best Solution for You